

自動車部、快挙を遂げる 九州チャンピオンに輝く

自動車部 主務(工2 1年) 柴田 藤井



全体写真

■全九州大学対抗チャンピオンシリーズで優勝

全九州大学対抗チャンピオンシリーズとは、日本学生自動車連盟九州支部に加盟する大学対抗の団体戦です。5月に行われるダートトライアル1戦、6月と11月に行われるジムカーナ2戦の計3戦が行われます。その3戦で獲得したポイント数で順

位を争います。昨年度、九州工業大学自動車部は見事シリーズ優勝を果たしました。

■全九州学生ダートトライアル大会



走行中の様子

天候にも恵まれ、最高のコンディションで行われた大会は、獲得ポイントが3戦で最も高く、優勝して後2戦に勢いをつけたいと思い、挑みました。部内の選考会で選ばれた選手3名が出場し、結果は5校中2位

と惜しくも優勝を逃してしまいました。優勝した九州大学とは約1.2秒差と、わずかな差で順位を落としました。大変悔しい思いをしました。

■全九州学生春季ジムカーナ



表彰式後の選手達

大会の数日前、使用するはずだった部車のエンジンが故障し、急遽部員の所有している自動車に参加することとなりました。目標であるシリーズ優勝をするためには、今大会の優勝が必須条件でした。前回大会から約1ヶ月と短い期間で、多くの練習を積んできた結果、5校中1位を取ることができました。大会当日は、OBの方にサポートをしていただき、選手以外の部員も勉強になりました。

■全九州学生秋季ジムカーナ



スタート前の様子

春季大会に使用できなかった部車にエンジンを換装し、生まれ変わった部車で最終戦に挑みました。この時点での獲得ポイントは、2位の九州大学に1ポイントリードと、油断できず、換装したエンジンも調子がいまより良くないという厳しい状況でした。大会当日は、全員で車両の整備や選手のサポートを行い、7校中1位になることができました。そして、見事シリーズチャンピオンの座を勝ち取りました。

■ 昨年度シーズンを振り返って

目標としていた、創部初の全九州大学対抗チャンピオンシリーズ優勝を達成することができました。部員の減少や部車の老朽化など、万全の状態では大会に挑めず、もどかしい思いもしました。その中で、自ら練習会に参加し、大会に出場して経験を積んで、選手同士で切磋琢磨しあえたことが目標達成に繋がったと思えました。

《自動車部の活動紹介》

■ 自動車部の目的と活動内容

私たち工学部自動車部は大学の課外活動として次のことを目的に活動しています。「運転技術の修得および研究を行い、学生生活における部員相互の親睦をはかり、且つ、自動車文化の向上に貢献する一方、部の健全な発展に努力すること」。具体的には、普段の点検・修理に加え、自動車競技（モータースポーツ）への参加およびそのための整備などを行っています。自動車の各種構造（エンジン、トランスミッション、電装系など）を実際に触れて理解すると共に整備技術を習得しています。



部車の整備の様子

■ 第57回ACK・KIT北九州ラリーの主催

当部はラリーと呼ばれる自動車競技会の主催を昭和38年より毎年行っており、本年度57回目の開催を迎えました。55回目まではKITナイトラリーとして開催していましたが、56回目からACK・KIT北九州ラリーとしての開催となりました。自動車部の長い歴史の中で大事に引き継がれている行事です。主催にあたっては、国内のモータースポーツを統括するJAFや自治体、警察署への許可申請や大会に必要な書類の作成、また、当日の運営を、近隣在

住のOBの協力をいただきながら自動車部全員で行っています。なお、現在、大学自動車部でラリーを主催することができるのは当部を含め数校のみとなっています。今後も伝統を守りラリー運営を続けられるように努力していきます。

また、その他、北部九州各地で行われるJAF公認競技会でも競技役員として主催協力を行っており、九州地区のモータースポーツの振興に貢献しています。

■ JAF公認競技会への参加



ラリー走行中の様子

JAFが公認するジムカーナ、ダートトライアルおよびラリーへの個人参加も積極的に行っています。

昨年の成績として、ジムカーナジュニアシリーズでは、惜しくも2位でしたが、ラリーチャレンジでは、RH-5クラスでのチャンピオンを輩出するなど、ここ数年で合計3名の九州ジュニアチャンピオンを輩出し、積極的に競技会への参加、入賞を果たしております。

■ 今後の自動車部

昨年は念願のシリーズ優勝を果たすことができました。今年も2連覇を目指し、全部員一丸となり全九州大学対抗チャンピオンシリーズに参加していこうと思っております。今後も我々自動車部は部活動での活動や公式大会への参加などを通して、自動車の楽しさをさまざまな人に伝え、自動車業界の活性化などに貢献していければと思います。また、遠征費用や老朽化が進んでいる競技用車両（部車）の更新費用などの問題もあります。ジムカーナやダートトライアル、ラリーなどの全日本学生大会にも積極的に参加していきたいと考えています。

今後、自動車部OB会や明専会の皆さまのご指導、ご協力をいただければと思います。